

糖尿病医療連携圏域別検討会の設置について

東京都糖尿病医療連携推進事業	
東京都全域を視野に、予防から治療までの一貫した糖尿病対策を推進し、都民の誰もが身近な地域で症状に応じた適切な治療を受けられる医療連携体制を構築することにより、都内での糖尿病患者の重症化予防、療養生活の質の向上につなげることを目的とする。	
東京都糖尿病医療連携協議会	糖尿病医療連携圏域別検討会
当事業について、東京都全域で統一的に定めるべき事項、広域的に対応すべき事項を協議するために設置する。	地域において検討すべき事項を取り扱うため、二次保健医療圏を単位として設置する。
●平成21年3月設置済み	●平成21年4月時点、12圏域中4圏域のみ設置 →全圏域に検討会を設置

車の両輪のように互いに支援・連携をしていく

圏域別検討会の立ち上げと進め方について

協議会の各圏域代表の委員と地区医師会とが連携し、関係機関等に呼びかけ、検討会を立ち上げる。

◆東京都糖尿病医療連携協議会として、東京都から東京都医師会に対して各地区医師会の積極的な協力を依頼済

I 圏域別検討会 準備会ないし初回の議事事項(例)

- ① 東京都の糖尿病医療連携推進事業の概要について
- ② 東京都糖尿病医療連携協議会での検討状況について
- ③ 圏域における医療資源の把握について
- ④ その他、糖尿病医療連携体制の構築について、地域の特性に応じた対応が必要な事項

II 圏域別検討会 事務局について

- STEP1 事務局を決定(事務局業務を担うのは、病院でも地区医師会でも可)
- STEP2 東京都と業務委託契約を締結
- STEP3 年度ごとに、東京都に対し委託業務報告書を提出

参考) 先行4圏域における平成20年度までの取り組み状況					
	区東部	区東北部	区南部	北多摩南部	
糖尿病医療連携検討開始年度	18年度～	18年度～	16年度～	17年度～	
事務局	東京都済生会向島病院	東京慈恵会医科大学附属青戸病院	東邦大学医療センター大森病院(H20:H21より変更)	東京慈恵医科大学附病院(H20:年度毎に)	
座長	北村 信一 名誉院長	蔵田 英明 診療部長	住野 泰清 副院長(H20)	森 豊 糖尿病代謝内科准教授(H20)	
専門疾病の把握	登録医制度を活用し、診療・療養指導の実施できる施設を把握	実態調査のためアンケート実施(全2回)、各診療科のアウトライン把握	アンケート実施	アンケート実施	
リスト等の作成状況	・登録医一覧表(第3版) ・登録医マップ ・登録医医療機関証	・病診連携リスト作成中 ・糖尿病医療機関マップ(仮)作成中 (上記アンケートより抽出中)	アンケート集計物をリストとして作成	・医療機関マップ作成	
リスト等の配布先	登録医	全医師会会員医療機関(予定)	医療機関配布	病院、関係団体等	
病状に応じた連携方法の検討	・糖尿病医療連携ガイドライン ・専用の患者情報提供書 ・登録医一覧表 以上作成	・糖尿病予防ガイドライン完成 ・医療連携ガイドライン作成中	・ガイドライン作成	・診療支援カード作成	
情報共有	・医療連携検討会少委員会を開催 ・登録医ニュース発行 ・H20年度より症例検討会開催	・糖尿病患者診療情報提供書作成→H21各医師会を通じて配布予定	・糖尿病教室 ・栄養指導 ・公開講座	・医師向け研修会開(H20:食事指導の種)	
その他	・H19.7.1区東部糖尿病医療連携開始に伴い、実施記念講演会を開催 ・一般診療所あて管理栄養士の派遣事業は継続して検討			・糖尿病地域連携クルパスの作成(アンケート→作成検討、啓蒙運用には至らず(H20	
委員情報	委員数(21年度)	17	13	11	21
	医師会	3	3	2	6
	歯科医師会・薬剤師会等	0	0	2	8※
	診療所	5	3	0	0
	病院	6	3	5	4